



あいじつ



開校146周年

あいさつからスタート～行動で伝える想い～

副校長 福成 利之

新年度が始まり、約1か月が過ぎようとしています。先日の保護者会にはたくさんの保護者の皆様にお越しいただきました。ありがとうございました。学校の方針や予定をお伝えすることはもちろん、直接お会いすることで、担任と保護者の皆様、また保護者の皆様同士が交流・挨拶できる大変よい機会となりました。

今年度も愛日小では、「思いやりの心」が大きなテーマです。さらにその心を育てていくために、「相手を意識して行動する」ことが重要です。『あいさつ』を一つの例にして考えても、意外と難しいものです。「大きな声を出せばいい」、「言われたらあいさつを返そう」、「目を合わせるのは恥ずかしい」など、子どもたちにとっても簡単ではありません。その中でも、最上級生となった6年生が「あいさつ隊」として正門に立っています。当番やボランティアで自主的に来た子どもたちが、元気よく、爽やかにあいさつをしています。そして入学したばかりの1年生も、目を見て笑顔で、丁寧にお辞儀をしてあいさつをしてくれます。どちらの「あいさつ」も、受け止める「相手」は大変気持ちよく、うれしくなります。「相手」を大切に想って、「あいさつ」を続けていけるように声を掛けていきます。

毎朝の校門では、教員だけでなく地域協働学校運営協議会の福地様や神山様をはじめ育成会、牛込母の会、民生委員の皆様のご協力をいただき、地域の方々とともに子どもたちを出迎えています。まずは、私たち大人がよいお手本となることが欠かせません。大人も子どもも関係なく、相手を大切にしていさつを重ねることで、子どもたちへも気持ちのよい「あいさつの輪」が広がることを願っています。

たてわり班活動について

たてわり班担当 本村 文香

愛日小には、異学年での遊びを通して人間関係や連帯感を育てることを目指した、たてわり班があります。1年生から6年生までの児童、約16人で一班が編成されています。

今年度は、数年ぶりに班編成を組み直し、新たな仲間と活動を行っていきます。あいじつ子ども園と長延保育園の園児が参加する「なかよしの日」は昨年度同様実施していきます。どちらも、5・6年生が事前にたてわり会議を行い、一緒に楽しく安全に遊べる内容を考えていきます。

一回目は5月27日(水)です。積極的に活動する高学年の姿を見て、下級生の児童も自分ができることを考えてより楽しく活動ができるよう、声を掛けていきます。

体育の決まりについて

体育担当 竹内 将希

子どもたちが安全に楽しく体育の学習に取り組み、運動に慣れ親しむために、4月は体育の決まりを重点的に各学年で指導してきました。シャツやゼッケンはきちんとズボンにしまふことやチャックやフード付きの上着は着用しないことなど、体育の決まりを守って安全に運動できるよう環境を整えていきます。紅白帽のゴム紐がゆるんでいたり、とれてしまっていたりするお子さんも見られますので、定期的に確認をお願いします。

また、体調やけが等で体育の学習にやむを得ず参加できない場合には、連絡帳で担任までお知らせください。